

口永良部島

1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは2(やや活発な火山活動)でした。

2 概況

火山性地震はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発です。

3 噴煙活動の状況

監視カメラによる観測では新岳・古岳からの噴煙は観測されませんでした。

4 地震・微動活動の状況(図2、図3)

- ・火山性地震の月回数は289回(3月:292回)とやや多い状態が続いています。
- ・火山性微動の月回数は11回(3月:7回)と大きな変化はありませんでした。
- ・地震の震源は、新岳の西約500m~1kmの深さ約0kmと新岳の北西約4kmの深さ約4kmに求まりました。

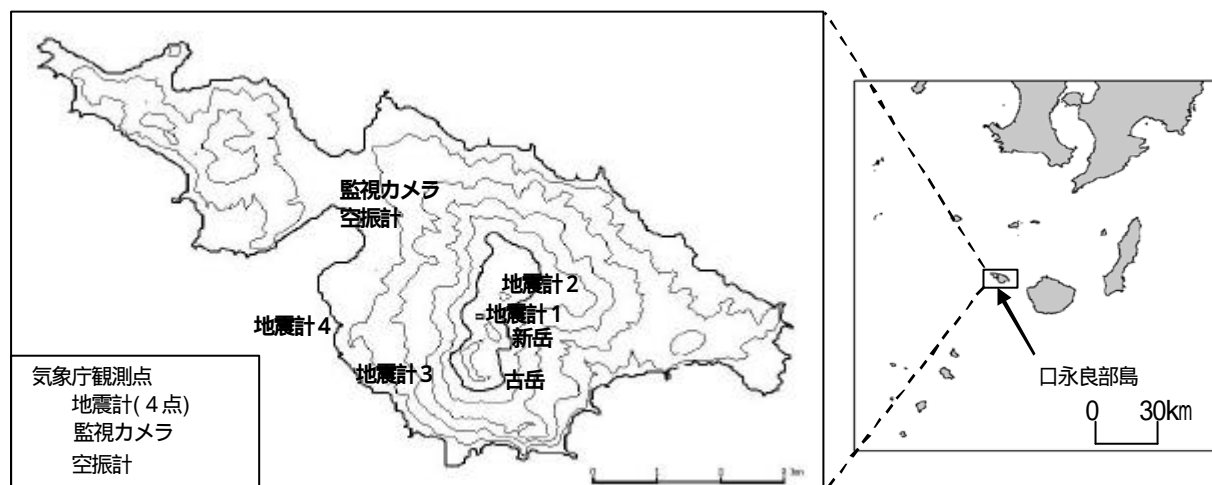


図1 観測点位置図

資料作成に当たっては、気象庁のデータその他、京都大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを使用しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

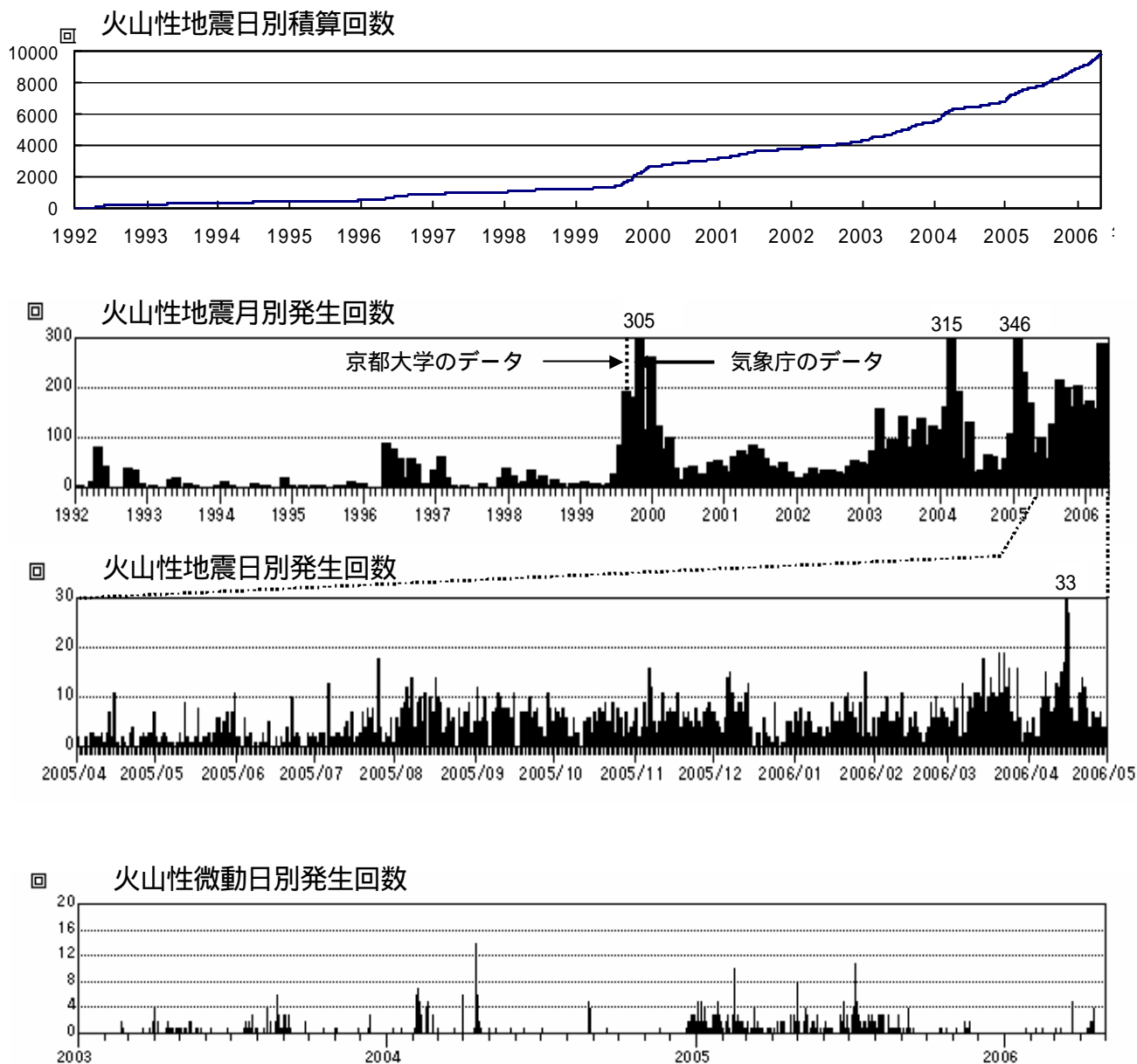


図2 火山活動経過図(1992年1月1日～2006年4月30日)

火山性地震は2005年7月以降やや多い状態で経過しています。

火山性微動は2004年12月以降やや多い状態で経過していましたが2005年9月からは減少しました。

- 1992年1月1日～1999年9月12日、2005年12月15～28日は京都大学が口永良部島に設置した観測点で計数したデータを使用しています。

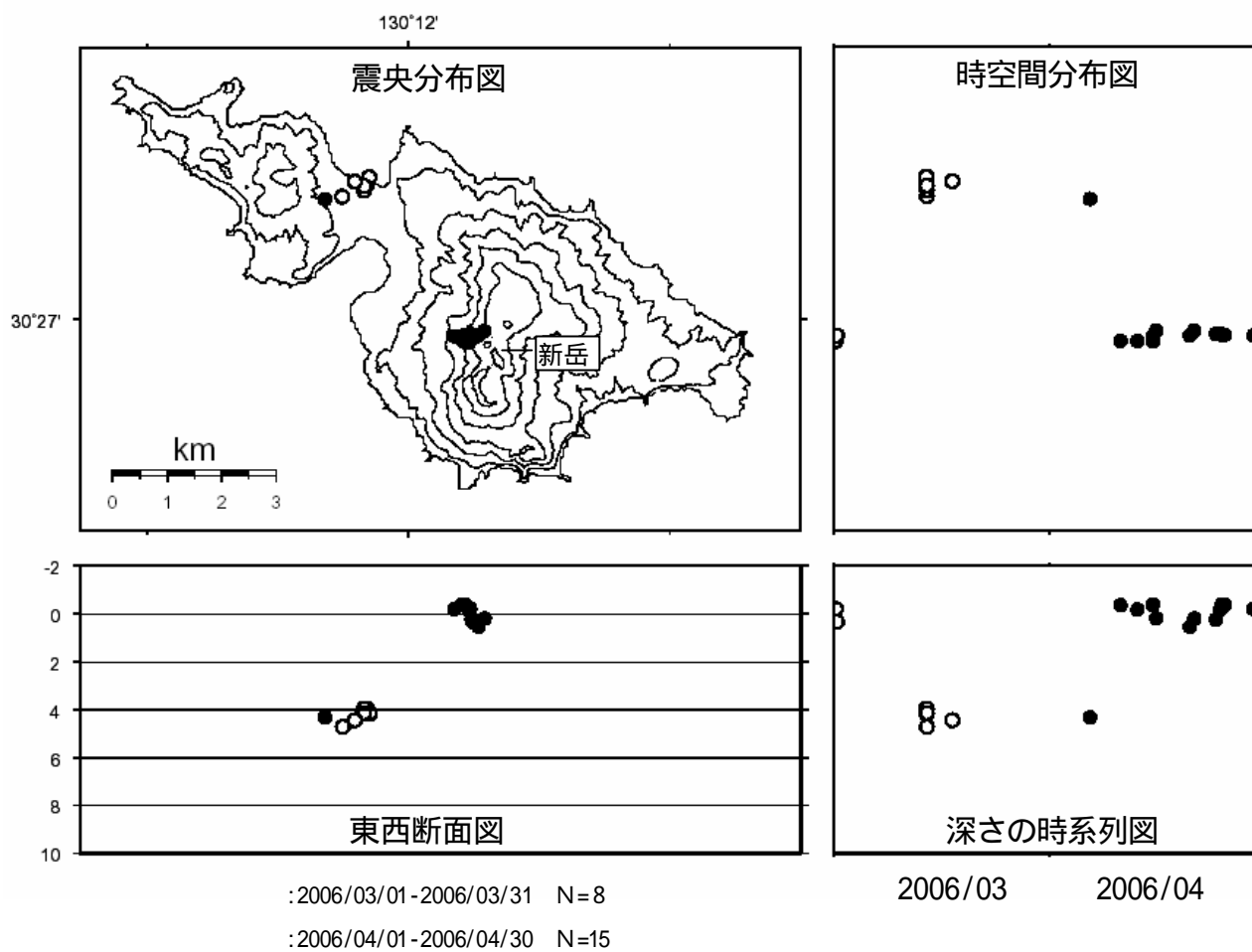


図3 火山性地震の震源分布(2006年3月1日～4月30日)

地震の震源は、新岳の西約500m～1kmの深さ約0kmと新岳の北西約4kmの深さ約4kmに求まりました。